

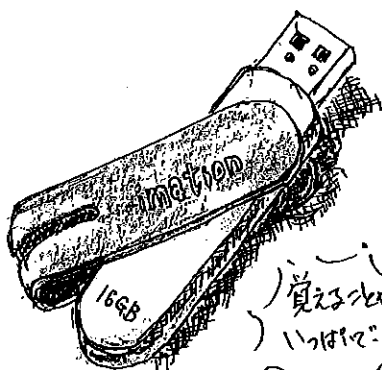
## 天晴れ！

男子バスケット部と卓球部が頑張ってくれました。1月28日(土)に卓球の県新人大会が、28日(土)29日(日)にバスケットの県新人大会が開催され、ともにベスト8入り。令和5年の更なる活躍を予感させる、素晴らしい結果を残してくれました。

部活動においては、少子化の影響が大きく、どの学校も、どの部も部員不足が心配されており、多くの部で合同チームが編成されています。このこともあり、地域スポーツ団体の立ち上げと、中体連大会への参加が、次年度以降行われることとなりました。先週金曜日、その概要を示したパンフレットを1・2年生と新入生に配布いたしました。本市においても、今後、その準備委員会が組織され、本格的な方針が示され、推進される予定になっています。その方針に従い、順次、地域スポーツ団体による活動が本格化していくこととなります。ただ、まだまだ時間がかかるかと思えます。いずれにしても、バスケット部も卓球部も本校単独チームで出場し、県大会で上位入賞を果たしたことは、本当に名誉なことであり、何より生徒を褒め称えたいと思っています。今後も、加津佐中の名を県下に轟かせることができるよう、全力で頑張ってくれることを期待しています。  
天晴れ、加中生!!!更に頑張れ、加中生!!!



## 入試制度の改革



公立高校の受検制度が一昨年から変わり、今年も2月1日、2日に前期日程の入試が実施されました。以前は推薦試験で数名のみが受検をしていましたが、定員枠が広がったことで、より多くの生徒が受検し、公立高校入学の内定を得られるようになりました。今年度、本校の前期日程受検者は19名。3年生の半数以上が受検しました。明日、その合格発表が行われます。当然、私立高校を受験した生徒も、既に合格の通知を受けています。本人にとっても、親にとっても、早く進路が決まるのは、精神的にも肉体的にも楽になり、非常に良いことだと思います。ただ、一つ気になることが・・・それは、「空白の2ヶ月」ができるということです。一旦、進路が決定してしまうと、どうしても勉強がおろそかになりがちです。受験勉強は本当に大変です。しかし、これも大きな経験の一つ。後期日程を受検する生徒が取り組む「最後の追い込み」は、確実に学力向上につながりますし、「苦しかったけど、最後の最後まで頑張った」という経験が、大きな財産となります。高校進学は人生の大きな転換期の一つです。自分の将来に向かっての学習がより具体化します。その備えにもなります。「勝って兜の緒を締めよ」この言葉を肝に銘じ、残り2ヶ月が空白にならぬよう、しっかり気を引き締めて、最後の最後まで学習に励んで欲しいと思います。(高校からも課題が出ます。入学後すぐに課題テスト等も実施されますので、備えてください。)